

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 塩谷 知一

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①愛の一声運動の（あいさつ運動）の維持実施
- ②市P連研修会の会場校として、確実に準備を行うとともに、学校内の連帯感を高める。

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ①「愛の一声運動」 子どもたちの自発的なあいさつを促すとともに「地域に見守られている」という安心感を与えることができたと思う。
- ②「市P連研修会」 役員、先生方、児童が一体となって事前準備を行い、それにより、吉原小の一体感、結束を発信することができた。

—反省点—

特になし

—改善案—

特になし

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校

会長名 望月 千春

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部・・・年間3回の新聞「いずみ」の発行

PTAのつどいでの学校紹介パネルの作成

生活指導部・・・交通指導、あいさつ運動「ふれあいの日」実施

「かけこみ110番」宅の確認と看板の取り替え、地図の修正

家庭教育部・・・1年生保護者対象、給食参観および試食会・三校合同事業への協力、持久走大会での飴の配布・卒業生に贈るコサージュの準備

環境整備部・・・年間2回の親子奉仕作業と古紙アルミ缶回収の実施

体育保健部・・・運動会への協力・親子レクレーション「今小ナイトウォーク」の実施

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

ー具体的な効果ー

年2回の親子奉仕作業は、各町内で前期、後期に当番を決めて多くの親子が参加してくれました。作業場所も各町内で割り当てし作業できるようにしています。「今小ナイトウォーク」は今年度4回目を迎えました。今年は体育館の工事もあり受付場所やルート変更がありましたが、体育保健部を中心にスムーズに行うことができ多くの方々に参加頂きました。

ー反省点ー

ー改善案ー

企画会議、理事会等の会議時間の短縮、時間を有効に使えるよう会議前に各部署と伝達、会議内容の事前準備を行い、マニュアル化できると良いと思います。

平成 30 年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校 会長名 石川 慎也

平成 30 年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA 活動目標テーマ

「縁」 人のつながりが地域をつなげる 深めよう！子どもたちの未来のために

- ・ PTA 活動目標テーマをもとに、各部ごとにテーマを掲げ、子どもたちのための活動を通して目標の達成に迫った。
- ・ 活動計画に基づき、各事業の実施に向けて専門部会や総務会等で十分に検討や準備を行い、充実した取組となるよう積極的に活動した。

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

- ・ 各部の活動では、今年度の PTA 活動目標テーマと各部のテーマの達成を目指し、「事業の意義」「子どもたちにとってどのような成果が出るのか」を考え、一人一人が目的をもって活動していった。それにより、各部員が主体的に取り組む事業を実施することができた。
- ・ 通常は部ごとの事業が基本であるが、総務部をはじめ他の部員が活動に加わり、連携協働していった。それにより、各部の事業の理解や部員同士の信頼関係が深まり、様々な取組に良い相乗効果がもたらされた。

— 反省点 —

- ・ 奉仕作業や古紙回収等、PTA 全体で取り組む事業には多くの保護者が積極的に参加していただける。その積極性をさらに広めていきたい。各部の大きな事業に加え、常時行われている取組(例えば使用済み油回収)にもご協力いただけるよう、取組についての広報・周知をしていきたい。

— 改善案 —

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校 会長名 渡邊 雄介

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA活動

リサイクル活動、親子奉仕作業、安全パトロール、AED実施訓練
給食試食会、プール監視、運動会、持久走大会

◎神戸地区各種団体行事

三世代交流カップスタッキング大会、神戸地区夏祭り（雨天中止）
神戸地区体育祭（雨天 体育館にて）、文化祭、防犯パトロール

◎富士市 PTA 連絡協議会主な行事

富士市 PTA 副会長専門部長 家庭教育委員研修会
第42回富士市 PTA のつどい PTA 活動実践発表会校

取り組みの効果

1. 有

具体的な効果

PTA 活動において、子どもを中心に先生方、保護者、地域の各団体の皆さまとの交流があることにより、つながり、絆が深まったように感じた。

また、親子奉仕活動やリサイクル活動は、保護者と子どもたちが一緒に参加することにより、友人同士、親子、先生方との絆はもちろんのこと、環境改善ボランティア活動を体験し、非常に意義がある活動であったと感じた。

反省点

各部主催行事の際、前年の主な引継ぎがアバウトだったため、少々困惑する事があった。各部前任者は、出来る限り今年度気付いた要点を箇条書きにし、後任となる来年度の各部長に伝えていきたい。

改善点

ありません。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校

会長名 河野 恵

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 新聞「松籟」の発行
- ・ 元吉原小学校合同レクレーション大会開催
- ・ PTA 奉仕作業
- ・ 交通安全リーダーと語る会への参加
- ・ 地域の危険個所の点検並びに見回りパトロール
- ・ 給食試食会の開催、地区文化祭にて出店、6年生へのコサージュ作り

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

- ・ PTA 新聞の発行により、PTA の具体的な活動などを保護者及び教師に知っていただくことができた。
- ・ 合同レクレーションにより、保護者、教師、中学校の保護者と良好な関係が築けた。
- ・ 奉仕作業により、普段子どもだけで行き届かない箇所を清掃することができた。
- ・ 子どもたちの通学路における危険な個所を知り、パトロールなどで安全確保をすることができた。
- ・ 地区文化祭では地域の方々との交流を楽しむことができた。

－反省点－

- ・ 特になし

－改善案－

- ・ 特になし

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 川口 益代

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aと子ども会世話人連絡協議会が重複している役員があることで、役員選出の際時間がかかる。また、役員になる、ならない人が出ていることで揉める。

そのようなことがなくなるように、分散、明確にした。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・全世帯を招集、P T A役員と子ども会世話人連絡協議会の組織図を明確にし、活動内容も具体的に説明。世帯数が少ない為、全世帯が役員という形にし、全員で活動する体制にした。ただ部員はP T Aと子ども会世話人連絡協議会の両方の活動に参加。こうすることで、全体の流れが見えるのではないかと推測。また、重複していた役員の負担を軽減したことで、選出時に掛かる時間が短縮された。

－反省点－

- ・編成はしたものの、形になるまで見届けられないことが悔やまれる。

－改善案－

- ・今年度はこうしたが、来年度活動してやりにくいところはどんどん変えてほしい。いつも「例年通り」にしなくてよいと思う。もっと役員全員が楽しく活動できる環境にしてほしい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校 会長名 長邊 実次

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

来年度以降P T A会員数が減少することを見越して、各部の活動内容を精選するとともに、活動に必要な部員数を検討し、少ない部員数でも充実した活動となるよう取り組んだ。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

＜本部＞

おおよその活動が終わった11月に特別に会議を設け、活動の改善と見直しについて話し合った。また必要な部員数を検討し、各部の活動に合った人数を提案することができた。

＜生活指導部＞

安全の日パトロールへの協力とかけこみ 110番の家の協力の呼び掛けは今後も継続するが、年4回の校区内巡視を年2回とし、負担軽減を図ることとした。

＜成人教育部＞

親子星座教室を教職員の企画のもとに行ってきたが、外部講師を招聘するようになった。

＜体育保健部＞

運動会協力(見回り)では、開放する校舎を限定し、体育保健部員のみで見回りをするように改善した。

P T Aスポーツ大会は外部講師を招いてのボッチャ大会を開催した。東京オリンピックパラリンピックへの思いを高めるとともに、障害者スポーツへの理解を深めた。

＜環境整備部＞

年2回の奉仕作業を年1回にした。また「親子」で協力して活動することを大きく打ち出し、学校をきれいにするとともに、子どもたちの愛校心を高めることができた。

＜家庭教育委員会＞

前期に行っていた給食試食会を後期に変更し、ゆとりを持って計画を立てることができた。

－反省点－

各部の行事によって参加者が多かたり少なかりして、各部の部長の負担が大きく、自分の担当行事だけでなく本部役員全体でもう少し協力できればよかった。また、P T A活動の内容を知らない保護者もおおり、内容を伝えるための工夫が必要と感じた。

－改善案－

P T A活動の中身を見直し、時代に合わせた活動が行えるように改善していくための会議を年に1回以上設ける。活動の内容が周知されるよう、校内掲示板などを使ったP Rも行っていく。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 内山 勝史

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- A. 穆清新聞発行・壁新聞作成
- B. 応急救護講習会・親睦バレーボール大会・親子ふれあいレクリエーション
- C. 古紙回収・環境整備作業
- D. 交通安全旗振り・児童交通安全標語選考、掲示
- E. 本の読み聞かせ・給食試食会

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- A. P T Aの取り組みを知ってもらうことができた。
P T A新聞の内容を工夫することで、学校の様子やP T A活動の様子を伝えることができた。
- B. バレーボール大会やふれあいレクリエーションを通じて、会員が仲良くなれた。
本年度初の試みだったバレーボール大会は、名札をつけたり、チームや試合順をあらかじめ決めておいたりすることで、スムーズに進行できた。
親子ふれあいレクリエーションは、ドッジボールをしたことで、親子で楽しめた。
- C. 古紙回収・環境整備作業
環境整備作業では、前もって役割分担を決めてあったので、スムーズに作業ができ、早く終わることができた。
古紙回収で得た収益金で、子供たちのために必要なものを購入することができた。
- D. かけこみ110番の設置場所を確認したり、1年生と4年生、6年生の交通安全教室等の行事に参加したりして、児童の安全のために活動できた。
- E. 朝の時間の読み聞かせは、毎回子供たちに喜んでもらうことができた。
給食試食会では、栄養士の話を聴くことで、給食のよさを改めて知る機会になった。

－反省点－

- A. 壁新聞作成に時間がかかった。
P T A新聞2号の作成を、副部長中心に行ったため、個人の負担が大きくなってしまった。
- B. 応急救護講習会は、2時間の入門コースでなく、3時間の普通救護講習を行いたい。
- C. 環境整備作業では、高所の為の脚立が不足した。古紙回収では、一度締めた後での持ち込みがあった。
- D. 6年生が行った交通安全を語る会は良いものだったので、参加者を増やす工夫をしたい。
- E. 本の読み聞かせができるボランティアの人を増やしていきたい。

－改善案－

- A. 引き継ぎ資料を作成し、1年間を見通した活動がわかるようにする。そして、計画的に活動ができるようにしていく。
- C. 古紙回収では、電話で地区ごとの終了を確認し、終了後の持ち込みがある場合は、学校の古紙置き場に運ぶことにする。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校 会長名 山本 牧

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年3回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年3回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（親子奉仕作業）
- ④P T A誌「大樹56号」の作成
- ⑤運動会およびマラソン大会への協力

- ⑥交通安全教室（1年生・4年生）への協力・補助
- ⑦家族ぐるみ読書の推奨・年2回のP T A読み語りを実施
- ⑧自由プールの監視補助

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 登校の様子を見守り、児童があいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築できたので、効果的だった。
- ② 3回の活動で得られた収益金を、児童のために有効に活用することができた。
- ③ 普段は手が回らない清掃（木の剪定なども含む）を行うことができたので、学校全体をきれいにすることができた。
- ④ 運動会の用具準備やテント設営、マラソン大会のコース監視など、教職員だけでは手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤ 教職員だけでは手が足りない部分を補うことで、保護者と児童の交通安全に対する意識を高めることができた。
- ⑥ 活動後には、「親子で触れ合う時間を過ごすことができた。」「子どもが小さい頃に読んであげた本を、改めて読み聞かせていく中で、子どもの成長を感じた。」等の好意的な意見が多かった。
- ⑦ 教職員だけでなく保護者の方々が協力したため、安全管理面で目が行き届いた。

－反省点－

- ・ P T A誌「大樹」の制作にあたって、学級のページや保護者作成ページをまとめる作業を担当教師が行っているため、負担が大きく、校正後の手直しの打ち合わせが煩雑になった。

－改善案－

- ・ 担当職員の作業の負担が大きいため、P T A役員での作成ができるようにしたい。現在の「P T A誌」としてでなく新聞形式への変更などを検討する。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校 会長名 後藤 正一

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①古紙回収、親睦ゲーム大会同日開催（H30年5月実施）
 - ・地区子ども会育成会と共同して行う年2回の古紙回収の1回目と、年度当初にP T A役員と学校教員との親睦ゲーム(ドッジビー)大会を同日実施。
- ②P T Aバザーにて特別支援学級のお店出展
 - ・バザー会場にて特別支援学級で作成したアクセサリー等の販売。
- ③広報誌のカラー配布
 - ・今までモノクロであった広報誌をカラー仕様に変更。

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- －具体的な効果－

- ①同日開催することにより、教員のはたらき方改善やP T A役員の負担軽減につながった。
- ②支援級の児童、教員、保護者により運営され、来場者からの評判も良く、児童の達成感にもつながったと感じる。
- ③H31年1月開催のP T Aのつどいに於いて、壁新聞が最優秀賞を頂き、皆さんにカラーで見てほしいという思いから仕様変更をした。

－反省点－

- ①回収業者と子ども会育成会との日程調整が必須であり、早めに動きださなくてはならない。（次年度は回収業者と育成会の行事が合わず同日開催が不可能。）

－改善案－

- ①同日開催については、教員・P T Aとも賛同を得ているため、早めの業者予約を行う必要がある。また、製紙会社が多い地区でもあるため、学校周辺の会社に相談するなどの工夫も検討していきたい。

平成 30 年度 P T A 活動最終報告

学校名 大淵第一小学校 会長名 古川 正紀

平成 30 年度重点活動の具体的な取り組み内容

【成人教育部】

- ・ P T A 機関誌「ひろば」の発行(年 3 回) … P T A 活動取材し、写真と記事を掲載
- ・ 3 校合同 P T A 教育講演会の実施(大淵中、大淵二小との合同講演会)

【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A 総会・引き渡し訓練の際に旗振り講習会を行い、P T A 会員全員が年 3 回ずつ当番制で登校の見守りを行った。
- ・ 地域の安全見守り…見守り 110 番の家の新規依頼、確認。古くなった看板の撤去

【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年 2 回)、奉仕作業(年 1 回)

【体育保健部】

- ・ ふれあいスポーツ大会 … 保護者同士や教職員とのふれあいを目的に『ビーチバレーボール大会』を開催
- ・ 救命救急講習…普通救命法について救命士による講習会

【家庭教育委員会】

- ・ 新茶を楽しむ会 … 大淵地区で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に児童がたしなむ。
- ・ 給食試食会 … 保護者を対象に、学校給食の様子を体験する。
- ・ B E N T O の力 … 子どもが自身の力で弁当をつくり、食に対する意識を高める。
- ・ コサージュ準備 … 卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A 活動を全会員に知らせ、広めることができた。

【生活指導部】

- ・ P T A 総会、引き渡し訓練の際に旗振り講習会を行い、P T A 会員全員が年 3 回ずつ当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収では、会員の家庭だけでなく地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができたため、P T A 活動費に充てることができた。

【体育保健部】

- ・ P T A 会員と教職員の多数の参加があり、ふれあいを深めることができた。

【家庭教育委員会】

- ・ 栽培が盛んなお茶を子どもたちに提供し、お茶の入れ方の手本を示しながら飲んでもらうことで、総合的な学習で取り上げるお茶について課題意識をもつことができた。
- ・ 給食試食会では、配膳や食事の様子を見学したり、給食の意義を栄養士から聞いていただいたりしたことで、保護者の学校給食への理解を深めることができた。

—反省点—

▽教育講演会や奉仕作業には多くの保護者が参加したが、もっと多くの方が参加できると考えられる。より多くの保護者が参加できる方法を考えたい。

—改善案—

◇教育講演会では話を聴くだけでなく、体を動かしたり、子どもと一緒に参加したりするなど内容を工夫したい。

◇奉仕作業は第 1 回目を親子で参加することとし、6 年生と一緒に参加している。このことを引き続き行っていくことでより広く奉仕作業の存在を意識させたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 大倉 守喜

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- <成人教育部> わくわく集会への出店 P T A新聞「こぶし」の発行
- <体育保健部> ふれあいレクリエーション大会（親睦ドッジボール大会）
救急法講習会
- <環境整備部> 奉仕作業（5月・9月）・リサイクル活動（6月・10月・1月）
- <生活指導部> 通学路の確認 危険箇所マップの作成
かけこみ110番の家の確認 交通安全を語る会への参加
- <家庭教育委員会> 給食試食会 市P T Aつどい掲示物作成
持久走記録会終了後の児童に温かいココアの提供
- <三校合同> 三校連絡会 三校合同講演会

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

小規模校ですので、全保護者が P T A の部員になり、活動しています。特に奉仕作業は全員総出で、学校の樹木の整備を中心に行います。少ない人数で広い敷地内の整備をするので、時間もかかりますが、皆さん積極的に働いていただきました。

リサイクル活動にもとても協力的で、いつもたくさんの資源が集まり、子どもたちの活動費に充てることができました。学校行事も役員として協力しました。先生方からは P T A の強力なバックアップに感謝されています。

会員1人1人の仕事は多いのですが、先生方と一緒に子どもの活動を支えている実感があります。これからも子どもたちの学校生活を積極的にバックアップしていきたいと思います。

—反省点—

とくにありません。

—改善案—

小規模学校で、保護者・児童とも少ないため、来年度からは4部から2部に再編成し、成人教育と生活指導の仕事を1つの部が、環境整備と体育保健の仕事をもう一つの部が行うことになりました。各部の仕事が多くなりすぎないように、行事を厳選し、意義のある楽しい P T A 活動としていこうと考えています。

平成 30 年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第一小学校 会長名 三枝 秀暁

平成 30 年度重点活動の具体的取り組み内容

- ・学区内主要横断歩道における登校時の旗振り当番を年間通して実施
- ・学校行事への参加
- ・校内クリーン作戦
- ・資源回収（年間 7 回）
- ・P T A新聞発行(年 2 回)
- ・給食試食会の実施
- ・地域かじま祭りにて「子ども相撲」の準備、運営協力
- ・

取り組みの効果

- ① 有 2 無（なぜ効果がでなかったのかを「反省」に記入）

—具体的な効果—

- ・登校時の旗振り当番を、全世帯にお願いして年間を通して実施することで子どもたちの交通安全意識を高められたとともに、P T A会員にも、「学区の子どもたちはみんなで見届ける」という意識を高めることができた。
- ・運動会では、応援スペースやシートを敷いてよいスペースなどを事前に学校と協議し、地図にして配布することで、お互いに気持ちよく応援ができる配慮を行うことができた。また当日は、校内の見回りを行うことで、子どもたちや先生方が、活動に集中できるように支援できた。
- ・校内クリーン作戦では、雑草を抜いたり、伸びた木の枝を伐採したりすることで、子どもたちが安全かつ快適に過ごせる環境を整えた。
- ・資源回収は、より多くの方が参加できるように土曜日・学校行事の日程に合わせてた。合わせて、役員の負担も考慮し、年 7 回実施とした。収入を学校図書館用図書購入にあてて、子どもたちの教育活動に還元することができた。(131 冊購入)
- ・1 年生保護者を対象として給食試食会を実施することで、1 年生の保護者が学校の様子を理解する一助を担うことができた。

—改善案—

- ・各行事に対しては、多くの方々が参加しやすい日時、参加したくなる内容になるように検討し、計画を立てる。
- ・各行事を見直したり、活動のスリム化を図った結果、4 専門部の活動に偏りも出てきたので、必要に応じてフォローし合ったり、行事を実施する部を見直したりすることを、引き続き検討したい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士第二小学校 会長名 望月 崇史

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・PTA新聞「けやきひろば」を年2回発行した。「けやきブログ」を随時更新した。
- ・また、「けやきブログ」に地区行事の記事も入れることで、地域活動の周知も行った。
- ・食育推進として、学校活動の田植え・稲刈りへの参加および田んぼで作ったもち米を使用しての餅つき大会の開催
- ・学校行事や地区行事への参加及び協力（運動会、地区文化祭、道徳指定校発表など）
- ・PTA全世帯交代での旗振り活動（通年で毎日実施）
- ・地域及び通学路危険箇所への注意喚起看板の設置
- ・かけこみ110番の家の勧誘及び子どもたちへの周知（ウォークラリーの実施）
- ・年3回の資源回収実施
- ・各種イベントの開催（文化講座、給食試食会など）

取り組みの効果

1. ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・PTA新聞やけやきブログにより、PTA活動を周知できた。
- ・PTAや学校、地域の連携を深めることができた。
- ・子どもたちの通学時の安全確保をした。
- ・親子参加や保護者参加により、学校教育や環境への関心が向上した。

－反省点－

- ・本年は台風の影響で地区のまつりが中止となったため、模擬店の仕入れなどの関係で混乱があった。

－改善案－

- ・天候不順による仕入れリスクを考え、購入品の再利用などを考えて計画をする。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校 会長名 小宮山 洋実

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

・校内、校外（地域）との繋がりを深める活動

地域教育連絡協議会への参加、田子浦かるた実行委員会への参加
地区文化祭と田子浦っ子祭りの合同開催、田子浦みなと祭り、地区体育祭やマラソン
大会等、地域行事への参加、小中合同教育講演会の実施

・学校をより良くするための活動

親子奉仕作業、年3回の古紙回収、夏休み冬休み期間中の資源回収

・子どもたちの安全を守る活動

A E D講習会、パトロール、イベントの誘導・警備、地区安全大会への参加

・P T A活動を理解してもらう為の活動

年2回の学校新聞（そてつ・大蘇鉄）の発行
給食試食会の実施、卒業生へのコサージュ作り

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・元々、地域行事が盛んでP T Aとしても参加していたが、今年度は田子浦小の創立140周年のお祝いと兼ねて地区文化祭と田子浦っ子祭りの合同開催することにより、より深く地域と繋がることが出来た。（来年度も合同開催が決定した）
- ・資源回収の収益により、全教室に扇風機を取りつけることが出来た。
- ・コサージュ作りの日程を参観日にすることで、参加者が増えた。

—反省点—

- ・P T A活動に参加しない方はほぼ固定しているということ。
- ・P T Aに対して抵抗感を持っている方に、参加したくなるようなアピールが出来ていなかったと思う。

—改善案—

- ・P T A活動は役員だけでなく、全てのP T A会員の協力によって成り立つということを、総会等で改めて確認していく。
- ・多くの方に参加していただけるよう、P T A活動に参加いただいた方の楽しそうな笑顔や喜びや満足された声を、発信していきたい。
- ・忙しい方にもお手伝い出来る状況を作り、一部の方々にかかる大きな負担を少しでも軽減していきたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A会報「岩松会報」取材と年2回の発行
- ・ P T Aのつどいのポスター作製
- ・ 五団体合同教育講演会への協力

取り組みの効果

①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 会報の記事を精選した。（今年度はP T A行事のみとした）

—反省点—

- ・ つどいのポスターをP T A役員に紹介することができた。他のP T A会員に知ってもらうことができなかった。

—改善案—

- ・ つどいのポスターを会報で紹介する

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ 年3階の古紙アルミ缶回収
- ・ 奉仕作業
 - ① 1年間事故、ケガなど内容活動する
 - ② 古紙アルミ缶回収のお願いのプリントを各地区の部員に調整して配布してもらい回収量が増えるようにした。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 毎回、作業の注意点を伝える。
事故、ケガなく終える事ができました。
- ・ 前年度より回収量が増えた。

—反省点—

- ・ インフルエンザの流行などと重なり、回収量が減ってしまった。
- ・ 時期などの見直しも考えた方が良いのか。
- ・ 回収方法の徹底をする。（時間を守れない方がいる）
(各町内で回収できていない班があった)

—改善案—

- ・ P T A会員のP T Aへの協力・意識を高めていった方が良い。
- ・ 収益金などを何に使ったかを明確に伝えた方が意識が高まるのではないかな。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aスポーツ親睦会開催
＜前半＞体育指導員、アトム先生とたかのぶ(?)先生をお迎えして、親子でできる運動教室
＜後半＞4色対抗ドッジビー大会+α（子ども vs 先生・大人）
- ・ 運動会・マラソン大会の運営協力
体育館の場所取りがスムーズに行くよう混雑がおさまるまで入口と出口を別にし、プレートを貼って分かりやすくした。

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 児童・保護者・教員の親睦を深めることができた。
- ・ 運動会、大きな問題なくスムーズに行えた
（部員みんなの意見⇒岩松小の親はほとんどの人がマナーを守り、注意（お願い）しても文句を言う人はいなかった。素晴らしです。）

—反省点—

- ・ スポーツ親睦会
今年度は気温・湿度ともに高く、熱中症の心配がありました。
各自持参の水分も不足、キーパーを用意しましたが、それもなくなりました。
7/1(日)中体連のスタートと重なってしまった。
- ・ マラソン大会
拡声器の電池を入れてじゅんぴしてなく、2つしか間に合わなかった。
今年もマラソンコースに車を通さなくてはならなかった。

—改善案—

- ・ スポーツ親睦会
次年度以降、満タンでキーパーに麦茶を用意する。
7月は中体連と子ども会の御神輿があり、6月はP T A奉仕作業があるため、なかなか難しいところです。なので、ラストの6年生は友達と参加でも許可にするなどできれば助かります。
- ・ マラソン大会
コースに入ってくる車を防ぐ改善案は難しいです。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ 毎月のあいさつ運動
- ・ 1年生の交通教室、4年生の自転車教室の手伝い
- ・ 「交通安全を語る会」への参加
- ・ 「かけこみ110番のいえ」プレート継続のお願いと設置状況報告

取り組みの効果

①. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ 交通安全や危険箇所への意識向上

—反省点—

- ・ 「かけこみ110番のいえ」プレート設置個所の見直し

—改善案—

- ・ 「かけこみ110番のいえ」プレート設置を店舗等に呼びかけ、昼間居ないお宅の設置見直し

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

年2回のベルマーク整理、給食試食会、卒業生へのコサージュづくりを行いました。

取り組みの効果

①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

ベルマークで、学校で必要な物を購入できました。

試食会で、給食の食材や調理について親から興味をもっていただけました。

—反省点—

去年より、ベルマークが少なかったです。インク、トナーも。

—改善案—

もう少し早めにお便りをだす。回数を増やすなどでしょうか？

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 植松 貞治

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会の運営(4/14)
- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえ (5/16)
- ・ 運動会への協力(6/2)
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントン(通年)
- ・ 総合防災訓練への協力(9/1)
- ・ 資源回収 (年3回)
- ・ 県下一斉補導(7/17、12/17)
- ・ 親子奉仕作業(7/1)
- ・ 3校合同事業 (昆虫教室) (11/10) (天間小)
- ・ 校内防犯パトロール(授業参観)
- ・ P T Aバザー (12/8)
- ・ 通学路点検 (通年)
- ・ 校内夏季夜間パトロール
- ・ 子育て研修会味噌づくり(9/12)
- ・ 交通安全を語る会への参加(6/28)
- ・ 給食試食会 (11/20)
- ・ コサージュ作り (1/25)

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえは、昨年の反省を生かし、学校の引き取り訓練との連携を深め、親子で通学路を歩きながら、かけこみ 110 番のいえの場所を確認した。保護者も通学路の危険箇所が確認でき、子供の防犯意識を高めることができた。
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントンは、例年通り盛り上がり、会員同士の親睦が深まった。
- ・ 総合防災訓練への協力では、今年は土曜日ということもあり、各地区での活動となった。2年目ということで、区長さんはじめ役員さんと児童・保護者の交流が進み、地区ごとの結びつきが強くなった。今後も続けていきたいと考えている。
- ・ 親子奉仕作業では、親子で汗を流しながらの作業で、普段子どもだけではできない場所がとてもきれいになり、子どもが毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。

—反省点—

- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえは、地区ごとの人数に差があるため、確認に手間取る地区があり、学校を出発する時間に差が出てしまった。
- ・ 給食試食会やコサージュ作りに参加する人数が減ってきてしまい、募集の仕方や運営方法を改善する必要がある。

—改善案—

- ・ 各行事の運営や募集について、参加者が増えるように早めに募集したり、活動内容をくわしく伝えたり工夫していく。
- ・ 資源回収については、古紙ステーションに活用を進め、回収量が増えるように呼びかけていく。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 田中 博道

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A新聞（号外を含む）による P T A活動の啓蒙
- ・ 地域への恩返しの活動

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 年間を通じて P T Aの活動がしっかりと根付いていて、役割や内容もはっきりしているのので、理事会も各行事もスムーズに進み、よかった。
- ・ おばけやしきなど、他の学校にはないこともあり、特色としてよい。
- ・ 地域の声を聞く会、行政懇談会など、地区の方々の意見を聞くことができ、様々な活動をしていることが分かり、大変良かった。

－反省点－

- ・ 理事の出席義務会合や行事が多い。
- ・ 各行事での人数招集が多すぎる。（やることがない。）
- ・ 各行事の反省点等、もっと話し合うべきではないかと思う。

－改善案－

- ・ 1人当たりの負担軽減のため、長時間参加する行事は拘束時間を短縮し、人数を分散したい。
- ・ 平日の夜の行事も仕事に支障をきたすことがあり、時間帯の変更または回数の削減を検討したい。
- ・ 理事の任期は会長も含め、2年にしたらどうか。人が変わるにより、活動内容の反省、整理、新たな事柄について検討しやすくなると思う。
- ・ 理事会は、議題について、承認・質疑応答の場にしてはどうか。議題をあらかじめ検討しておく、会がスムーズに時間内で終わるのではないかと思う。
- ・ 役員・部員の割り振りをより具体的にしてはどうか。事前に内容・時間等をはっきり示すことにより、活動に参加しやすくなるのではないかと思う。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 金子 佳久

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ◎「親子で楽しく、一緒に参加するP T A活動」を目指し、親子で楽しめる活動を企画・運営をした。また、それぞれの活動が、P T A会員同士の交流を深める場となることをめざした。
- 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加（執行部）
丘地区の行事である「丘地区さくらまつり」や「丘地区文化祭」において、P T A主催の模擬店を出店。
- かけこみ110番ウォークラリー（生活指導部）
学校の避難訓練終了後に、引き取り訓練と合わせて、親子で通学路の危険箇所やかけこみ110番の家の確認をした。また、行政に働きかけを行い地域内の危険箇所の改善を行い子供達の安全確保ができた。
- 朝の交通安全（旗振り）指導（生活指導部）
毎月、1日と15日を基本に、月2回、各町内の生活指導部員で当番を決め、登校時の交通安全指導を行った。
- 親子奉仕作業（環境整備部）
保護者、児童、教職員が参加し、運動場石拾い、側溝清掃、草取り、校舎内トイレの清掃を行った。
- 親子スポーツ教室（体育保健部）
第1回親子スポーツ教室……ドッジビー大会 開催
第2回親子スポーツ教室……キンボール大会 開催
- 親子食育推進事業（体育保健部）
家庭で出来る食育推進としてかぼちゃプリンを参加者で調理した。
- 親子学習教室「丘小サイエンス」（成人教育部）
「科学に興味を持つ子供が増えてほしい」、そんな願いから「第6回丘小サイエンス」を開催した。
- P T A新聞発行（成人教育部）
P T A活動の広報と、学校行事の紹介のため、成人教育部で取材、編集・構成をして、P T A新聞『愛の泉』を発行した。
- 卒業生コサージュ作り（家庭教育部）
家庭教育部員と有志で、心をこめて卒業生のコサージュ作りを行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加
P T A活動をPRするコーナーやお店を出店することにより、子どもたちだけでなく、地域の人々にも丘小P T A活動の実践内容を伝えることができた。

○かけこみ 110 番ウォークラリー

通学路を親子で一緒に歩くことにより、かけこみ 110 番の家や通学路の危険個所を確認することができた。また、子どもたちにも、いざという時は、「自分の身は自分で守る。」という意識をもって行動してほしいことを伝えることができた。

○親子奉仕作業

親子で協力し合いながら作業をすることにより、約 2 時間の作業で、子どもたちが気持ちよく生活できる学校環境が整った。親子が一緒に作業することを通して、触れ合う場になった。

○親子スポーツ教室 〈第 1 回「ドッジビー大会」 第 2 回「キンボール大会」〉

・ドッジビー大会は、子どもから大人まで 130 名の参加があり、楽しく試合をすることができた。ドッジビーは低学年の子どもから大人まで、みんなが楽しく参加できるスポーツで、参加者からも好評であった。

・キンボール大会は、昨年度よりも多い 85 名の親子が参加した。チームの仲間や親子で作戦を練ったり、協力し合ったりして試合に臨む姿が見られ、大変盛り上がった。キンボールを通して、PTA 会員同士の交流も深めることができた。

○親子学習教室 「丘小サイエンス」

会場である体育館には、ふきごま・傘袋ロケット・葉脈作り・針金アメンボ・スライム・バランスストーンボ・昆虫触れ合いコーナーなどのブースが設置され、子どもたちは楽しみながらいろいろな体験をすることができた。今年は、199 名の親子が参加した。毎年、この「丘小サイエンス」を楽しみにして、参加している親子も多く見られた。

○親子食育推進事業

家庭で出来る食育として親子料理教室「かぼちゃプリンを作ろう」を開催。18 名の親子が参加し栄養価の高いかぼちゃを用いた料理教室を行った。

○朝の交通安全指導

校区には、交通量の多い交差点や横断歩道も多いので、朝の旗振り指導を行うことにより、子どもたちが安全に登校でき、また、あいさつを通して、子どもと触れ合うことができた。

○PTA 新聞の発行

PTA 新聞を通して、PTA 各専門部の活動の様子や学校行事での子どもの様子等を伝えることができた。

○卒業生コサージュ作り (家庭教育部)

素敵で卒業式になるように、参加者が一つ一つ気持ちを込めて丁寧に手作りをしてくれた。卒業していく 6 年生を思い愛情たっぷりのコサージュができあがった。みんなでコサージュを作ることにより、参加者同士の交流も深めることができた。

－反省点－

・来年度も親子で楽しみながら運動したり、学習したりできる活動を継続していき、丘小の PTA 活動を盛り上げていきたい。

－改善案－

・親子で参加する活動については、比較的到低学年の児童の参加が多いので、高学年の児童が多く参加できるような活動内容を検討し、実施していきたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 土屋 香織

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

家庭教育委員会

「親子手芸教室」

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・講師を招き、紙バンドで「かご」を製作した。手芸教室が終わっても紙バンドに興味をもち、家庭でも引き続き製作に取り組む子どもが増えた。
- ・親子で協力しながら、楽しく取り組めた。
- ・昨年度まで行っていた「親子お菓子作り教室」と比べて、アレルギーの心配をすることがなくなった。

—反省点—

- ・「手芸教室」という名称の影響か、父親や男児の参加が少なかった。

—改善案—

- ・「工作教室」等、誰でも参加しやすいようなネーミングにすればよかった。

平成 30 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 九 里 一 平

平成 30 年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年 2 回）
壁新聞づくり
- ・生活指導部 交通安全街頭指導（年 4 回）
1 年生交通安全教室 4 年生自転車教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収（年 2 回） 6 年生親子奉仕作業
- ・体育保健部 運動会準備・協力 三校合同球技大会参加 持久走大会協力
- ・家庭教育部 給食試食会 P T A バザー主催
- ・父親クラブ 学校のかいだん

取り組みの効果

1. ⑦ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・成人教育部 P T A 会員の皆様が楽しめる内容を心掛け、新聞を発行することができた。
- ・生活指導部 ほぼ全 P T A 会員の家庭の参加で交通安全街頭指導、理事パトロールなどはほぼ計画どおりにできた。通学時の危険箇所アンケートを実施し、「危険箇所マップ」を作成し、危険箇所を呼び掛けた。
- ・環境整備部 奉仕作業(2回)ではけが人もなく、参加者で協力して学校内外をきれいにすることができた。古紙回収2回もスムーズに行うことができた。
- ・体育保健部 今年度初めて持久走大会の保護者立ち入り箇所の制限に取り組んだが、スムーズに活動できた。
- ・家庭教育部 P T A バザーへの品物提供が増え、大盛況に終わった。給食試食会も大好評であった。
- ・父親クラブ 「学校のかいだん」は、参加定員数を超える多くの応募があったが、安全確保のため 400 名に限定した。大盛況に終わった。

－反省点－

- ・「学校のかいだん」が 2 年ぶりに開催され大盛況に終わったが、夜の活動になるため登下校の際の安全確保、参加者が限定されること、受付の混雑、ジュニアリーダー（中学生の手伝い）の帰りが遅くなることなど、課題があった。取組についての代案の声も上がった。
- ・バザーの時間帯を早くして、客の確保をしたい。

－改善案－

- ・「学校のかいだん」については、課題の改善に向けて来年度取り組むが、改善が困難である場合は、保護者、子どもの参加したい方が全員参加でき、昼間の時間帯で安全に取り組める活動に代案も含め検討していく。
- ・バザー自体は、この 2 年間で売り上げが少し上向いている。時間帯については、子どもの活動（ききょう祭り）との様子で可能は範囲で改善していく。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 橋本 剛

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 P T A会則（役員選出方法・部員構成）の改正
 - ・臨時P T A総会を開き、P T A会則を改正し、本部役員・各専門部役員の選出方法を地区制から学年制に変えた。
 - ・P T A活動に多くの人に関わってもらうよう、部員の構成を4、5年生のP T A会員全員とした。
- 2 各専門部の活動の見直し
 - ・昨年度より取り組んでいる「活動のさらなる充実」「教職員・P T A役員の負担の低減」「活動参加者を増やす」「誰でもできる活動」を今年度も継続して取り組んだ。
 - (1) 米作り・収穫祭（環境整備部）
 - ・地域から学校主体の活動に変更して2年目を迎え、昨年度の反省を生かしながら実施した。
 - (2) 親子奉仕作業（環境整備部）、かけこみ110番ウォークラリー（生活指導部）
 - ・「授業参観日」に同日開催を継続。
 - (3) 卒業式のコサージュ作り（家庭教育委員）
 - ・授業参観日に同日開催とした。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 H31年度の役員選出について、地区により人数の偏りがある等、地区で決めることに限界があったため会則を改正した。改正された選出方法で進め、選出することができた。
- 2 各専門部の活動の見直し
 - (1) 学校主体となって2年目となり、学校での実施方法、P T Aとの連携・協力体制がある程度確立してきた。
 - (2) 授業参観日に同日開催にすることで参加人数が増え、親子で協力し合い楽しく奉仕作業ができるようになった。また、保護者と児童と一緒に、110番の家の確認、通学路の危険な場所の確認ができた。
 - (3) 授業参観日に行ったことで、6年生の保護者が参加しやすくなり、参加者が増えた。

—反省点—

- 1 改正して初めての運用・実施だったため、様々なご意見をいただいた。
- 2 各専門部の活動の見直し
 - (2) 米作り・収穫祭について
 - ・収穫祭については、昨年度の反省をもとに実施したが、まだ2年目なので、時間配分や役割分担、地域・P T Aとの連携等、反省や意見をいただいた。

—改善案—

- 1 改正された内容の周知を図る。そのうえで、必要に応じてP T A役員選出対象者、選出方法、専門部部員の選出方法について意見を聞き、一定の選出基準や方法を考えていく。
- 2 各専門部の活動の見直し
 - (2) 米作り・収穫祭について
 - ・米作りについては、連絡方法の確立、実施方法の確認等、必要に応じて事前の打ち合わせを行う。
 - ・収穫祭については、いただいた反省や意見をもとに、時間配分や役割分担、地域・P T Aとの連携等、改善していく必要がある。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立 岩松北小学校 会長名 島崎 裕二

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

【岩松北小 P T A】

- ・年10回のP T A役員会（うち1回は台風のため中止）
- ・P T A総会での個人情報の利用についての議事
- ・P T A親と子のつどい
役員各部、岩松中P T A、ジュニアリーダー、児童クラブ、3年・5年・6年の学級・特別支援学級が出店し、親と子の親睦を図った。

【三役】

梅まつりでの出店（14名参加）

【成人教育部】

- ・「地域が育てる岩松の子どもたちの会」2回 主催
(第1回 60名参加 第2回 40名参加)
- ・年2回「会報いわもと」発行（7月・3月）

【環境整備部】

- ・奉仕作業
- ・年3回古紙回収

【体育保健部】

- ・スポーツ親睦会「ドッジビー」
- ・運動会協力
- ・チャレンジランニング大会への協力

【生活指導部】

- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・校区パトロール
- ・かりがねまつり、実相寺お会式街頭指導

【家庭教育部】

- ・P T A試食会の実施
- ・家庭教育部・6年生保護者による卒業生 コサージュ作成

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

・「親と子のつどい」は、本校独自の活動である。マスのつかみ取りやリース作りなど体験型の店において、児童と保護者が楽しく活動したり、焼きそばやフランクフルトなどの模擬店では、役員と教員が共に店の運営にあたり、たくさんのふれあいがあった。体育館では、家庭教育部を中心にバザーを開くことができ、大盛

況だった。また、今年度は、学級のお店も多数出店され、より保護者と学校が連携した会となった。「地域が育てる岩松の子どもたちの会」の2回目と同時開催にしたため、地域の方々にも参加していただき、PTAの活動のアピールの場ともなった。

【成人教育部】

- ・PTA広報誌「会報いわもと」において、創立30周年を記念して行った式典や各部で行われているPTA活動の様子をたくさんの写真とともに詳しく紹介した。式典やPTA行事に参加できない家庭にも、活動の様子を伝えることができた。

【環境整備部】

- ・古紙・アルミ缶回収では、地区の回覧板を通して日程や収益についてお知らせを行った。年々回収量が少なくなっているが、行事での回収や曜日の検討を行って来年度につなげたいと考える。

【体育保健部】

- ・低学年の子供から大人まで一緒に楽しめる「ドッジビー」を実施した。教員も多く参加し、さわやかな汗を流すことができた。

【生活指導部】

- ・子どもの安全のために、かけこみ110番の整備や校区内パトロール等を行ってくださった。校区の危険箇所の調査を行う中で、パトロールで設置している看板の修理を行った。

また、各地区でPTA会員が横断歩道等に旗振り当番として立つことで登校中の子どもの安全が守られた。

【家庭教育部】

- ・本校の栄養教諭をから学校給食の話を知ったり、子どもたちの給食の配膳の様子や食事の様子を参観したりした。学校給食に対する理解が深まった。
- ・6年生の保護者へコサージュ作りへの協力を呼びかけ、多くの参加者が集まった。

☆三役とPTA役員が協力体制を組めるよう、理事会においては、地区のPTA理事から意見を多く吸い上げ、改善に向けての話し合いを行うことができた。

ー反省点ー

- ・環境整備部に仕事が集中する傾向があり、部員が負担感を感じている。
- ・新1年生の名簿について前年度までに伝えることができなかつたため、旗振り当番が組めないという意見が出てきた。
- ・古紙回収・アルミ缶回収の収益が減少してしまった。

ー改善案ー

- ・これまで環境整備部が中心だった奉仕作業を全専門部で分担して行うことにし、環境整備部の負担を少なくする。
- ・新1年生の入学説明会で「PTA活動のための確認書」を集めることで、新年度に向けた当番決めをスムーズに決められるようにした。
- ・行事・長期休み等で古紙やアルミ缶の回収を行い、協力を呼びかける。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校

会長名 小池 義治

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

学区内や近隣において不審者情報が多発していることから、児童の安全・安心な登下校を目的として、「子ども110番の家」の協力者（一般家庭および店舗）の拡大を図った。子ども110番の家については、近年は積極的な拡大はされてなかったが、新潟でおきた女兒殺害事件の報道をきっかけに、地域にお住まいの方が活発に新規開拓に取り組んでいただき、協力者を増やすことができた。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

「子ども110番の家」の協力者（ライオンマークのステッカーを掲示して頂いている家および店舗）は年度当初76件であったが、通学路沿いの目立つ家や店舗を中心に19件を拡大した。児童の交通安全活動をされている地域の方が自発的に通学路沿いの家を訪問し、その中から協力者になって頂けそうな家の情報をPTA役員に連絡、PTA役員が再度訪問し、「子ども110番の家」の概要を説明し、ステッカーの設置を行った。

－反省点－

拡大活動を行って頂いた地域の方とPTA役員との連携がうまくいかず、PTA役員の負担になった面があった。「子ども110番の家」の維持・拡大については、これまで年度当初の計画を基に、PTA本部役員が地図とリストで全体を管理、PTA地区役員が年に一度の訪問を行っていたが、年度途中においても、地域の方からPTA地区役員に直接、「あの家が、子ども110番の家になってくれそう」と随時連絡が入り、その都度PTA役員の作業負担が発生し、すぐに対応できないこともあった。

－改善案－

「子ども110番の家」の家については、年度計画で拡大活動の時期を年度当初の数ヶ月に限定するなど明確にするとともに、地域の方とPTA役員の連絡窓口を一本化するなどしていきたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 青葉台小学校 会長名 藤田博史

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①総務会…学校行事の「あおば祭り」、地区行事の「夏祭り」、3校合同事業への協力
月1回の総務会開催
- ②文化教養部…P T A新聞「あおば」を2回発行、P T Aの集い参加、壁新聞制作
- ③生活安全部…交通安全運動への参加、「交通安全を語る会」参加、手作り看板設置・
点検、旗振り当番作成、通学路パトロール、横断歩道小旗の管理、
「かけ込み110番の家」プレートの設置、新1年生対象通学路確認
- ④環境整備部…古紙・アルミ缶・牛乳パック回収2回実施、親子奉仕作業1回実施
- ⑤体育保健部…運動会への協力、親子ナイトウォーク、持久走大会への協力
- ⑥家庭教育委員会…ランチ試食会、P T Aバザー、卒業生へのコサージュ準備、親子
で楽しむみそ作り教室

取り組みの効果

1. (有)
 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

各部とも、昨年度と今年度の引継ぎが円滑であった。新旧部委員、部長どうしが上手にコミュニケーションをとってくれていたため、行事や作業がとても順調に進んだ感がある。子どもたちのために進んで活動に取り組んでくださる保護者が多いと感じた1年であった。

生活安全部の新1年生対象通学路確認では、「交通安全を語る会」で6年生が作成した通学路の危険個所の資料を掲示し、保護者や子どもたちに提示したことは工夫であり、有効であった。

「親子で楽しむみそ作り教室」は、青葉台独自の活動だが人気があり、2回に分けて実施するほどの盛況であった。

—反省点—

- ①環境整備部では、古紙やアルミ缶の回収量が、他地区に比べて少なかった。
- ②奉仕作業を年1回（5月）に減らしたが、夏休み後の環境がよくなかった。
- ③P T A活動に熱心な保護者が多い一方、P T A活動に全く関わらない方もいる。

—改善案—

- ①来年度は、事前の広報活動を強化し、回収量の大幅アップを目指す。
- ②奉仕作業を年2回（5月と9月）実施とする。
- ③P T A活動の内容や会則、意義について理解を深められるよう、説明する機会や時間をこれまで以上に増やしていく。また、本当に必要な活動を吟味し、新しい活動や多くの保護者が参加したくなる内容になるように、話し合っていきたい。

平成 30 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士川第一 小学校 会長名 江口 秀明

平成 30 年度重点活動の具体的な取り組み内容

・ふれあいフェスタ

全校児童・保護者・地域の方に呼び掛けて行う活動。体育館では中学校吹奏楽部の演奏や、スポーツ少年団（バスケット）の体験、バザー品の販売が行われ、グラウンドではサッカーと今回初参加の少年野球の体験、昇降口前ではP T A 役員による模擬店による販売、幼稚園遊戯室では絵本の読み聞かせと、初の試みであるブック交換会を。また、ジュニアリーダーによる綿菓子販売とP T A とのコラボ企画としてスタンプラリーとガラガラくじを行った。

取り組みの効果

1. ⑦ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

ー具体的な効果ー

- ・今回スタンプラリーを行った事で、全てのイベント会場で参加者が増え、運営側のやりがいに繋がった。また、多くの方にP T A 活動の一環を見てもらう事ができ、今後の協力を繋げることができた。

ー反省点ー

- ・今回、開催時間が例年より短い事もあり、各イベントの開催時間が切迫してしまった部分があった。また、開始時刻の徹底が出来ておらず、フライングスタートしてしまったブースがあり、参加者から問い合わせがあった。
- ・天候の事まで考えていなかった為、雨天が予想される場合には、事前に打ち合わせが必要。

ー改善案ー

- ・運営役員全員に開始時刻の徹底。
- ・スタンプラリーは好評だったが、スタンプを集める数を少なくし、もっと多くの子どもたちがクジを回せるようにすると更に楽しめるのではないかと。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第二小学校 会長名 天野 真

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 「かけこみ110番の家」登録依頼
- ② 通学路点検・通学路防犯マップ
- ③ 親子体操教室の開催
- ④ 普通救命救急講習会・プール開放の監視協力
- ⑤ 登校時における交通指導
- ⑥ 給食試食会の開催
- ⑦ PTA新聞の作成
- ⑧ 奉仕活動（草取り・高所窓拭き・側溝の掃除）

取り組みの効果

1. ⑧ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① 地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ② 引き取り訓練の時に通学路の危険箇所を確認し、関係各所に改善を依頼し対処してもらった。
- ③ 親子で一緒に体操し、楽しくスキンシップを図ることができた。
- ⑤ 親子で科学の不思議を体験した。
- ⑧ 仕活動により、児童達の手の届かない部分の整備・補修ができ、地域主催のイベントに協力できた。

—反省点—

- ・ P T A活動科を活発にし、保護者同士の交流をもっと深めたい。
- ・ 科学遊びのような児童達の好奇心を煽るようなイベントを増やし、参加者を増やしたい。
- ・ 計画的と打ち合わせを綿密に行い、PTAの行事を盛り上げていきたい。

—改善案—

- ・ 各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにしたい。
- ・ 保護者と教師が連携を図り、活動を円滑に行えるように努めたい。